

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 30 日(2022.11.30)

【公開番号】特開 2022-115220(P2022-115220A)
【公開日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)
【年通号数】公開公報(特許)2022-145
【出願番号】特願 2021-11729(P2021-11729)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 21 日(2022.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

演出を制御する演出制御手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、を備えた遊技機であって、

前記遊技制御手段は、

始動条件の成立に基づいて特別遊技を行うか否かの判定を実行可能であり、

前記演出制御手段は、

前記判定の結果に応じて遊技演出を実行可能であり、

30

遊技演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、

前記操作手段の操作有効期間には、

前記遊技演出中の第 1 タイミングで発生する第 1 有効期間と、

前記遊技演出中の前記第 1 有効期間よりも後の第 2 タイミングで発生する第 2 有効期間と

、があり、

前記振動演出には、

前記第 1 有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行可能な第 1 振動演出と、

前記第 2 有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行可能な第 2 振動演出と、

操作有効期間を発生させずに実行される第 3 振動演出と、があり、

前記第 3 振動演出には、

40

所定タイミングで実行される第 1 演出と、

前記第 1 演出とは異なるタイミングで実行される第 2 演出と、があり、

前記第 1 演出における振動態様と、前記第 2 演出における振動態様とを異ならせることが可能であると共に、前記遊技演出の実行中に前記第 1 演出と前記第 2 演出とを演出期間が重ならないように実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

上記の目的を達成する本発明は、次のような遊技機として実現される。この遊技機（例えば、遊技機 1）は、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、主制御基板 1 1 0）と、演出を制御する演出制御手段（例えば、演出制御基板 1 3 0）と、遊技者が操作可能な操作手段（例えば、演出ボタン 1 7、演出レバー 2 4）と、を備えた遊技機であって、前記遊技制御手段は、始動条件の成立に基づいて特別遊技（例えば、大当たり遊技など）を行うか否かの判定を実行可能であり、前記演出制御手段は、前記判定の結果に応じて遊技演出（例えば、変動演出）を実行可能であり、遊技演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、前記操作手段の操作有効期間には、前記遊技演出中の第 1 タイミングで発生する第 1 有効期間（例えば、セリフ予告演出や擬似連演出に係る有効期間）と、前記遊技演出中の前記第 1 有効期間よりも後の第 2 タイミングで発生する第 2 有効期間（例えば、カットイン演出や決め演出に係る有効期間）と、があり、前記振動演出には、前記第 1 有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行可能な第 1 振動演出（例えば、セリフ予告演出時や擬似連演出時の振動演出）と、前記第 2 有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行可能な第 2 振動演出（例えばカットイン演出時や決め成功演出時の振動演出）と、操作有効期間を発生させずに実行される第 3 振動演出（例えば、先読み振動演出、ステップアップ予告演出時の振動演出、図柄揃い時の振動演出、C 図柄揃い時の振動演出）と、があり、前記第 3 振動演出には、所定タイミングで実行される第 1 演出（例えば、先読み振動演出、ステップアップ予告演出時の振動演出等）と、前記第 1 演出とは異なるタイミングで実行される第 2 演出（例えば、図柄揃い時の振動演出、C 図柄揃い時の振動演出等）と、があり、前記第 1 演出における振動態様（先読み振動演出：1 秒間の弱振動又は 3 秒間の強振動、ステップアップ予告演出時：1 秒間の弱振動）と、前記第 2 演出における振動態様（C 図柄揃い時：1 秒間の強振動、図柄揃い時：4 秒間の強振動）とを異ならせることが可能であると共に、前記遊技演出の実行中に前記第 1 演出と前記第 2 演出とを演出期間が重ならないように実行可能であることを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50